

○一般社団法人 日本森林学会 2020年度第3回（通算第474回）理事会 議事録

日時：2020年9月30日（水）13:00～17:20

場所：Web会議システム（Adobe Connect）を用いて開催

開催者：丹下 健

出席者：会長）丹下 健，副会長）深町加津枝，正木 隆，理事）玉井幸治，柿澤宏昭，土屋俊幸，伊藤 哲，松本麻子，井上真理子，枚田邦宏，井鷲裕司，高山範理，田中 浩，黒田慶子，船田 良，大久保達弘，横井秀一，梶本卓也，小島克己，太田祐子，監事）駒木貴彰，戸丸信弘，主事）南光一樹，山田祐亮，滝 久智，吉藤奈津子，坂下 涉，小山泰弘，永野聡一郎，竹内啓恵，水内佑輔，今村直広，杉浦克明，編集部）町田庸子 [学会誌刊行センター]，事務局）稲村崇子，オブザーバー）近重朋晃 [全林試協]

議長：丹下 健

Web会議システム（Adobe Connect）にて出席者全員が問題なく参加できており，出席者が適時の確な意見表明が互いにできることを確認し，議案の審議に入った。

審議事項：

本理事会で議論・決定された事項は以下のとおりである。

1. 第132回大会（東京農工大）の準備状況について

土屋理事（大会担当）より，大会運営委員会の方針が説明された。大会日程について，2020年3月19日（金），20日（土），21日（日），23日（火）とし，22日（月）を休止日とすること，日本木材学会との合同大会のオープニング・セレモニーは19日に，公開合同シンポジウムは21日に開催することが承認された。関連研究集会について，依頼があれば周知は行うが学会大会の中には組み込まないことが承認された。

大会受付システムについて，支出や手間を考慮して木材学会と同じシステム（Atlas社のConfit）を用いることが提案されたが，審議の末に否認された。木材学会と異なるシステムを使うこととなるため，木材学会大会の参加者が森林学会大会にスムーズに入れる仕組みを作る必要性について確認がされた。大会参加費について，大会運営委員会とプログラム編成委員会とで調整した上で，臨時理事会で決定すること，大会受付システムに口頭発表ファイルのバックアップを登録する機能の付与を依頼することが承認された。企画シンポジウムにて発表を行う木材学会員については，森林学会か木材学会のいずれかに対して参加費を支払うことによって発表を認めることにした。

2. 日本森林学会会員案内の改正案

玉井理事（総務担当）より，年会費の納入が遅れた会員に対し，会員としての権利を停止するまでの手続きを改善するための改正が提案された。提案のとおり承認された（資料1）。

3. 一般社団法人日本森林学会ウェブサイトにおけるバナー広告取り扱い要領の改正案

井上理事（広報担当）より，委員会の名称を現在の「広報委員会」にあわせるための改正が提案された。提案のとおり承認された（資料2）。

4. 帰国留学生会員に対するフォローアップ支援の提案

大久保理事（国際交流担当）より、第 132 回大会の学会企画として「帰国外国人留学生会員と海外関連学会との国際交流プログラム」が提案された。一つの企画として参加者を固めてしまうことの賛否について審議された結果、申込み期限なども踏まえて、通常の学会参加ではなく学会企画として行うことが承認された。

5. 前回までの議事録

2020 年度の第 2 回（通算第 473 回）理事会、3 回のメール理事会（第 2 回、第 3 回、第 4 回）の議事録が承認された。

6. 次回理事会の開催

次回の理事会は、連携学会長合同会議としてオンサイトとオンラインを併用して、2020 年 12 月に開催することが承認された。

報告事項：

本理事会で報告された事項は以下のとおりである。

1. 第 132 回大会（東京農工大学）の準備状況

梶本理事（プログラム編成担当）から、公募セッション 5 件、企画シンポジウム 11 件の申込みがあり、全て採択となったことが報告された。

学会企画として 5 件の案（企画担当、ダイバーシティ推進担当、国際交流担当、中等教育連携推進担当、学協会連携担当）が報告された。枚田理事（企画担当）が企画案を取りまとめて、12 月理事会で審議する事となった。

大会期間中に大会運営委員以外の重要な人員が大学に行く必要があるかについて意見がかわされた。

2. 第 133 回大会（東北地区）の準備状況

玉井理事から、オンサイトでの開催を前提に、山形市での開催準備を進めていくとの結論に達したとの連絡が、山形大学よりあったことが報告された。大会運営委員長：林田光祐会員（山形大学農学部）、総務：菊池俊一会員（山形大学農学部）とすること、大会運営委員会は山形大学、岩手大学、森林総研東北支所、山形県、岩手県および東北地域の関連機関メンバーにより構成する予定であることが報告された。オンサイトかオンラインかの判断期限は 2021 年 5 月が目安との意見があった。

3. 総務担当からの報告

玉井理事から、科研費（研究成果公開促進費）の応募がなかったこと、第 136 回大会以降の開催順番について将来検討委員会学会大会運営検討小委員会での検討を考えていること、2021 年度日本農学大会にて 2020 年度農学賞受賞者の表彰を行う予定であること、2021 年 1 月から 2022 年 12 月までの期間に日本農学会の常任委員の順番が日本森林学会に回ってくること、4 件の共催・後援・協賛依頼の承認、会員動向について報告された。

4. 会計担当からの報告

柿澤理事から、第 131 回大会（名古屋大学）会計収支の途中経過、2020 年度半期決算について報告された。

5. 日林誌編集担当からの報告

正木理事から、投稿審査状況、論文賞の選考状況が報告された。今年度は論文の第 1 審に要した日数が減少傾向（平均 36.6 日。昨年度が 46.9 日、一昨年度が 43.5 日）にあることが報告された。

6. JFR 編集担当からの報告

伊藤理事より、出版状況、特集号 4 つ分の進捗（掲載済み 1、掲載予定 1、掲載延期 1、採用 1）、論文賞の選考状況、バーチャル特集「Special Collection: Managing Coppice Forests」について報告された。25 巻 2 号はカラーページの不備があり再印刷を依頼し、9 月中に納品予定である。

7. 森林科学編集担当からの報告

松本理事の代理として坂下主事より、発行状況、誌面リニューアル、執筆ガイドラインの改定、広告獲得状況が報告された。誌面リニューアルは、表紙変更、誌面のフルカラー化、掲載記事の再編、記事レイアウトの変更が主な内容であり、90 号から行う。それに伴い執筆ガイドラインが改定された。既往広告主の直接広告契約を 1 件獲得した。

8. 広報担当からの報告

井上理事及び小山主事より、委員会開催、メールマガジンの発行状況、jfs-mail のアドレスリストの更新、ウェブサイトの更新記録について報告された。

9. 企画担当からの報告

枚田理事より、学会企画案「技術者教育からみた 4 年制大学教育の現状」、大学教育検討特別委員会設置の提案が報告された。企画案は必ずしも大会中の開催でなくともよいとの意見があった。新規委員会設置について、玉井理事（総務担当）と調整することが確認された。

10. 表彰担当からの報告

井鷲理事より、日本農学進歩賞の応募がなかったこと、学会各賞の応募が少なく締切を延長したこと、農学賞の候補者推薦を募集していること、第 132 回大会で学生ポスター賞を実施することについて報告された。学会ポスター賞にコアタイムを設けることのメリット・デメリットについて意見がかわされた。

11. ダイバーシティ推進担当からの報告

高山理事及び竹内主事より、委員会体制、委員会会議、日本学術会議公開シンポジウムへの参加、男女共同参画学協会連絡会運営委員会への出席、第 18 回男女共同参画学協会連絡会シンポジウムへの参加予定、木材学会との合同での学会大会企画、女性会員を中心とした情報共有イベントの学会大会企画について報告された。第 132 回大会における託児サービスの可能性について意見がかわされた。

12. 林業遺産担当からの報告

深町理事より、2019 年度林業遺産の普及・啓発について報告された。林野庁広報誌「林野」No.160（2020 年 7 月発行）に掲載された。

13. 木材学会連携担当からの報告

船田理事より、木材学会の会費、刊行物等について報告された。

14. 国際交流担当からの報告

大久保理事より、韓国森林科学会 60 周年記念大会へのオンライン参加と国際交流担当者の確認、中国林学会国際交流担当者の確認について報告された。

15. 国内研究機関連携担当からの報告

横井理事より、全国林業試験研究機関協議会との連携セミナーの進捗状況について報告された。セミナー内容は「R を用いたデータ解析」（受講者 28 機関 43 人）と「論文の書き方」（受講者 25 機関 39 人）、希望機関（43 機関）には配信内容を記録した DVD を配布予定である。

16. 社会連携担当からの報告

小島理事より、次期「森林・林業基本計画」策定に向けた林野庁森林・林業基本計画検討室への学会意見提出、環境省自然環境局自然環境計画課生物多様性戦略推進室からの生物多様性及び生態系サービスに関するアンケート調査への協力依頼と対応について報告された。

17. 中等教育連携推進担当からの報告

太田理事の代理として杉浦主事より、第 8 回高校生ポスター発表について、大日本山林会の協賛と国土緑化推進機構「緑と水の森林ファンド」の助成が決定したこと、大会中の実施方法について報告された。ポスター審査にコアタイムを設けることのメリット・デメリットについて意見がかわされた。高校生ポスターの表彰式に合わせたパネルディスカッションを計画している。

議事録作成者：玉井幸治，南光一樹

資料1 『4-4 日本森林学会会員案内』の改定

新旧対照表

新	旧
<p>3. 会員の種別と年会費 (略)</p> <p>正会員には、表1A～Dのいずれかの冊子、「<u>会員名簿</u>」および「<u>日本森林学会メールマガジン</u>」の無料配布、また、「<u>Journal of Forest Research(JFR)</u>」および会誌「<u>森林科学</u>」をWeb上にて無料で閲覧できるIDとパスワードが発行されます。</p> <p>(略)</p> <p>4. 会費が未納入となった場合 <u>指定された期日までに会費の納入が認められなかった会員には、未納であることの確認と改めて期日を定めての納入をお願いします。それでも会費が納入されなかった場合には、会員としての権利を停止します。未納期間の会費納入が確認された場合には、会員としての権利を回復します。</u></p>	<p>3. 会員の種別と年会費 (略)</p> <p>正会員には、表1A～Dのいずれかの冊子、「<u>会員名簿</u>」の無料配布、また、「<u>Journal of Forest Research(JFR)</u>」および会誌「<u>森林科学</u>」をWeb上にて無料で閲覧できるIDとパスワードが発行されます。</p> <p>(略)</p>

資料2 『3-3 バナー広告取り扱い要領』の改定

新旧対照表

新	旧
<p>3.6 バナー広告受付と掲載可否の審議に関する流れ</p> <p>① バナー広告掲載希望の受付は、本学会事務局が行い、<u>広報委員会</u>へ上申する。</p> <p>② 掲載希望のあったバナー広告の掲載可否は、<u>広報委員会</u>が決定し、必要に応じて理事会に諮る。</p> <p>③ <u>広報委員会</u>は、掲載可否の審議結果を事務局へ通知する。</p> <p>(略)</p>	<p>3.6 バナー広告受付と掲載可否の審議に関する流れ</p> <p>① バナー広告掲載希望の受付は、本学会事務局が行い、<u>ウェブサイト編集委員会</u>へ上申する。</p> <p>② 掲載希望のあったバナー広告の掲載可否は、<u>ウェブサイト編集委員会</u>が決定し、必要に応じて理事会に諮る。</p> <p>③ <u>ウェブサイト編集委員会</u>は、掲載可否の審議結果を事務局へ通知する。</p> <p>(略)</p>